

平成25年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 新潟市下水道部		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 新潟市下水道部経営企画課 経営企画係 梅田 綾里 電話025-226-2963 FAX025-228-2209 keiei.ps@city.niigata.lg.jp
代表者氏名 新潟市長 篠田 昭		
(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】
部門名 行政広報	部門 部門	事例名 生放送ラジオでPR 「水玉ぼうしと ハッケン! ナットク! 下水道」
事例の概要 (適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい)		
<p>新潟県内に広く親しまれ、高い支持を得ているBSN新潟放送の番組内で、下水道PRコーナーを設け若手・中堅職員が生出演し、親しみやすさと分かりやすさをモットーに、下水道事業をPRした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <ol style="list-style-type: none"> 1 放送期間 平成24年8月15日～9月5日の毎週水曜日 2 コーナー設置番組および放送時間帯 <ul style="list-style-type: none"> ・BSN新潟放送「ゆうWAVE」(午後3時～5時30分) ・時間は午後3時40分から概ね5分間 ・主なターゲット …主婦層、営業車で移動中の営業マンなど 3 コーナーの構成 <ol style="list-style-type: none"> (1)職員の自己紹介…番組パーソナリティーから職員の印象や人柄、趣味なども引き合いに出してもらい、親しみやすさをPR。 (2)本日のテーマ…各回ごとに出演職員の業務内容からテーマを設けてトーク (3)本日の「みずたま川柳」…水玉ぼうし役の女性職員が下水道川柳を披露 4 コーナーの各回内容 <ul style="list-style-type: none"> 【第1回】「下水道って、な～んだ？」 下水道建設に携わる技師職員が、下水道のしくみや大切な役割(汚水処理+雨水排水)を分かりやすく解説。東日本大震災発生時に救援活動に派遣された際の体験談をまじえ、下水道の大切さを訴えた。 【第2回】「キーワードは3年! 下水道の接続は早めがオススメ！」 日ごろ、水洗化普及業務に従事する職員が、下水道への早期接続を促した。「下水道部のマジシャン」との紹介で、コーナー冒頭趣味のマジックを披露するとともに、二児の父として地球環境の保全に大きく関わる下水道への接続の大切さを情熱的に語った。 【第3回】「下水道まつりへ行こう！」 新採用2年目でまだ初々しさの残る職員が、下水道事業運営に欠かせない使用料収入のしくみと、翌週に開催される「下水道まつり」について、日々のエピソードをまじえ、さわやかにPRした。 【第4回目】「ミスター下水道 下水道の未来を語る」 新潟一の下水道愛を自負する下水道部長が自ら出演し、近年、新潟市が取り組む再生可能エネルギーの活用をはじめとした「下水道の未来」を語り、より地球にやさしく進化する下水道の新たな側面をPRした。 </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div>		
エントリー事例の特徴 (下水道インフラの価値を高める上で優れていると思われる点など)		
<p>◎日常生活から切り離せない「下水道の大切な役割」を、職員の生の声と実体験を通して語りかけることによって、より身近に、実感を伴って感じてもらえた点。これにより、供用開始後接続のなかった世帯から、下水道への接続に関する問い合わせがあった。</p> <p>◎視覚的な情報を提供できないラジオ放送で、下水道について分かりやすく伝える工夫をこらすことにより、下水道に携わる職員のスキルアップにつながった点。</p>		